

史料群番号 41

史料群名	ささこひろし 笹子廣家文書	旧所蔵者	笹子廣
探訪時住所	千葉県安房郡千歳村白子		
現在の住所	千葉県南房総市		
探訪年月	昭和24（1949）年12月		
史料の年代	明治42（1909）年～昭和10（1935）年	史料の総点数	28点
年代の内訳	近代 28点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「1950年3月 漁業制度資料目録 第1集 全国篇Ⅰ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」「平成十七年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-千葉県（房総半島沿岸地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

探訪の書類によると、昭和24年の探訪のうち一紙の約50点は返却され、残る帳簿18点は永久寄託されたとある。整理封筒として用いられたと見られる「祭魚洞書屋収蔵古文書」の封筒にも永久寄託と記されている。「漁業制度資料目録 第1集」に掲載されている史料は、現在中央水産研究所に収蔵されているものではなく、返却分についてのものである。なお、点数の増加は整理の方法に原因があり、史料の混入などによるものではない。

史料群の概要

探訪地の安房郡千歳村白子は、明治22年から昭和29年までの自治体名である。それ以降千倉町となり、平成18年に南房総市となった。

笹子家は大正末まで網元として漁業を生業としていた。本史料群にも大正頃の巾着網による鯛漁の入用帳などの帳簿が残されている。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

